

第155回「移動産学官交流」講演会(静岡農業高校)

参加料  
無料

# 種子保存・農福連携と

# 藻類微生物による

# 資源循環



今回は、静岡農業高校を会場に、大学研究者、企業、高校関係者が講演や発表を行います。講演者や発表者等と交流を持ち、今後の企業活動等に活かしていただければ幸いです。多数の方のご参加をお待ちしております。



## 2025.2.7(金) [講演会] 16:00~18:00

[会場] 静岡県立静岡農業高等学校5階 視聴覚室(静岡市葵区古庄3-1-1)

主催: 静岡市清水産業・情報プラザ(指定管理者: 静岡商工会議所) 共催: 新産業開発振興機構、静岡県農業高等学校校長会

**研究発表** 「南アルプスの贈り物 ~オオサクラソウ種子保存プロジェクト~」

静岡県立富岳館高等学校 オオサクラソウ研究班

**企業発表** 「農業と福祉事業の連携」

株式会社ヒバリヤ 関連事業統括 林 弘二 氏

**講演** 「駿河湾排水資源化計画: 藻類微生物複合系による  
バイオ排水処理システムの開発」

静岡大学 農学部 応用生命科学科 准教授 長尾 遼 氏

本会には、宝くじ  
収益金の一部が  
使用されています



静岡農業高校  
食品科学部  
生徒さんによる  
お土産があります

定員

会場聴講

60名

【申込方法】 下記申込書に記入してFax、E-mailで申し込み下さい。

なお、右記QRコードからも申し込みできます。

【問い合わせ事務局】 静岡商工会議所 産業振興課(担当: 水越、堀川)

Tel. 054-355-5400 Fax. 054-352-7817 E-mail: info@siip.jp

申込先は  
こちら



## 参加申込書

第155「移動産学官交流」講演会(静岡農業高校)2025年2月7日(金)開催

〈 申込先 〉 Fax. 054-352-7817

事業所名		Tel	
所在地		Fax	
参加者名	(役職名: )	(役職名: )	
E-mail			

※申込書にご記入いただいた情報は、当日名簿として利用するほか、商工会議所からの各種連絡・情報提供に利用する事がありますのでご了承ください。又、今後の「産学官交流講演会」のご案内を送付させていただきます。(原則E-mail案内とさせていただきます。)

## 研究発表

### 「南アルプスの贈り物 ～オオサクラソウ種子保存プロジェクト～」

静岡県立富岳館高等学校 オオサクラソウ研究班

静岡県で絶滅危惧Ⅱ類に指定されているオオサクラソウは、日本固有変種であり、北海道と本州に分布している大型のサクラソウです。本校では、自然界での絶滅に備え、県自然保護課の指導を受けながら継続研究をしています。冷凍保存種子からの発芽試験、生息地の環境、現地から採取した生息土壌、累代栽培による花芽分化、大量増殖を目的とした組織培養等の調査・研究をおこないました。またオオサクラソウの認知度を上げるために広報活動にも力を入れ始めました。

オオサクラソウは今、自生地の環境変化や温暖化等の影響で危機的な状況になっています。

本校で栽培している個体が花を咲かし、種を取ることができたならオオサクラソウという「種の保存」に繋がります。私たちの研究が絶滅回避の手助けになることを願い、これからも活動を続けていきます。



## 企業発表

### 「農業と福祉事業の連携」

株式会社ヒバリヤ 関連事業統括 林 弘二 氏

ヒバリヤが農業を始めた理由は、清水区三保折戸エリアは従来農業が盛んな地であったが、農業経営者の高齢化と人材不足で農業の担い手が減少し、最盛期の1/3程度に経営数、生産量が減少してきました。ヒバリヤ創業の地である三保折戸地区の活性化を図る為に農業を始めて地区の活性化、雇用促進を目的に農業を開始しました。

又、福祉事業は障害を有する人達が社会においてあまり恵まれた環境にないことから、生活の自立、社会への進出を願いNPO法人を立ち上げ、8年目を迎えた現在24名前後の利用者さんに利用して頂き、社会進出と生活の自立に向けた仕事を確保し、日々の継続的な施設運営を実施しています。

尚、「農業と福祉事業の連携は成り立つのか？」と疑問を持たれますが、働きたい意欲のある障碍者さんと人手不足に悩む農業のマッチングは何を生産するのか？どのような仕事をしてもらうのかに絞って生産計画を策定すると十分に成り立つと考えています。



【略歴】

東海大学海洋学部水産科増殖過程卒業後、1983年日魯漁業(現マルハニチロ)に入社。貿易部に配属され、マグロ他魚類の仕入れに従事。1988年に同社退職後、米スタンフォード大学MBA取得、1990年に日商岩井(株)入社。水産部に配属され、マグロ他魚類の買い付けに奔走。1995年に同社NY子会社へ出向、1999年に本社へ帰任する。その後、2016年に株式会社ヒバリヤに入社し、現在株式会社日晴農場、NPO法人スカイラークの事業統括として従事している。

## 講演

### 「駿河湾排水資源化計画:

### 藻類微生物複合系による

### バイオ排水処理システムの開発」

静岡大学 農学部 応用生命科学科 准教授 長尾 遼 氏

排水処理は高コストと大量のCO2排出という課題を抱えており、環境負荷の軽減が求められている。我々のグループは、これらの問題に対応するため、排水を活用した藻類バイオ排水処理システムの開発を進めている。従来の活性汚泥法に代わり、排水中の栄養塩を利用して微細藻類と微生物の複合系を構築し、淡水を使わずに藻類を増殖させることで、CO2排出の削減と処理の効率化を図る。また、藻類バイオマス生産の過程で有用物質の生産も検討している。

将来的には、駿河湾に隣接する工場排水を資源とし、得られる藻類バイオマスを養殖や水産加工といった産業に応用し、持続可能な資源循環の促進を目指す構想である。



【略歴】

2007年東京理科大学理工学部卒業後、東京理科大学大学院理工学研究科修士課程工業化学専攻修了。2012年東京大学大学院総合文化研究科博士課程広域科学専攻単位取得し、博士(学術)(東京大学)取得。日本学術振興会特別研究員(DC1)、日本大学文理学部助教、名古屋大学大学院理学研究科特任助教、岡山大学異分野基礎科学研究所特任講師を経て、2023年2月から静岡大学大学院農学領域准教授に就任し現在に至る。研究分野は植物生理学、光合成学。